

## 令和 2 年度第 2 回（7 月）高松圏域自立支援協議会運営会議 議事録

日時) 令和 2 年 7 月 10 日（金）11：00－12：00

場所) かがわ総合リハビリテーションセンター第 1 研修室

参加機関)

香川中部養護学校、高松養護学校

高松市健康づくり推進課、高松市障がい福祉課、三木町福祉介護課、直島町住民福祉課

就労支援部会：かがわ総合リハビリテーションセンター、障害者就業・生活支援センターオリーブ

精神保健福祉部会：障害者地域生活支援センターほっと

相談支援部会：障害者生活支援センターたかまつ

身体障害者支援部会：障害者生活支援センターあい

発達障害部会：発達障害者支援センター「アルプスカガワ」

医療的ケア部会：支援センターこがも

当事者団体・家族会連絡会：相談支援事業所ライブサポートセンター

居宅サービス事業所連絡会：高松市社会福祉協議会訪問介護事業所、地域活動支援センタークリマ

事務局：高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

会長：高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点

\* 次回 = 令和 2 年 8 月 14 日（金）開始時間と場所は後日決定

議題)

①各部会等，事務局報告（▲今回報告なし）

○就労支援部会

7/5 に全体会と委員会を実施。雇用フォーラムとしごとサロンたかまつの中止を確認した。中止することは協議会ホームページで周知する。これらイベントの中止により予算について再検討が必要。

○精神保健福祉部会

コア会議（10 名程度/偶数月）と各ワーキング（奇数月）に分けて会を実施するように形をつかった。

○相談支援部会

参加機関が多いため 1 事業所 1 名で人数を絞り、1 時間で終了するよう工夫をしている。GSV は密を避けるため各地域拠点のエリアごとに分かれて実施するよう周知している。毎月必ずというものではなく、各エリアの状況に応じて実施していただく。実施報告書の様式は現在作成中。

○身体障害者支援部会

アンケートのまとめ作成中。8 月末までに完成させたい。

○知的障害者支援部会▲

○発達障害部会

定例会のメンバーに毎回参加いただくかは未定。高校生ガイドブックについては、A5 版 8 ページ、ネット犯罪被害に遭わないためのガイドにする予定だが、予算が増やせるのであればページ数や内容を増やすことも検討できるかもしれない。

○こども部会

集まらず、メールで部会を進行している。アンケートの集計結果はホームページに掲載すると承認される。

アンケートの内容は、児童発達支援、放課後等デイサービスを利用している感想や利用日以外の生活状況等を問うもの⇒集計結果はぜひ学校でも参考にさせていただきたい。

## ○医療的ケア部会

就学に関する内容のパンフを作成・配布できるようにしたい。パンフの内容は現在総合教育センターと相談しながら検討を進めている。3歳児検診時の配布だけではなく、相談支援事業所を通して必要なケースに配布し、早めの就学相談につなげたい。医療的ケア児等コーディネーターにも、就学に関することの相談が寄せられている。また、NICUを出て在宅に帰る前に（サービス不要でも）相談支援専門員をつけたいとの相談も寄せられている。

医ケアが必要な方のB型利用についても課題がある。医ケアの行為自体は自分でできても、看護師がいないと受け入れできないと断られ、やむなく生活介護を利用しているケースがある。同様のケースは今後も増えるだろう。対策が必要だと思う⇒B型事業所の集まりがあれば、このような課題の相談や普及啓発もしやすい。就労部会のA型委員会で医ケアケースの受け入れについて話題に上げてみたい。

○当事者団体・家族会連絡会 ▲

○居宅サービス事業所連絡会 ▲

○地域生活支援拠点検討部会 ▲

## ②事務局より

・B型事業所検討会の報告

意見交換に参加を依頼した事業所は、県のサビ管研修の講師がいるB型事業所。今後、参加事業所を増やして再度今後の活動について意見を集約する。就労部会には属さない会にする方向。

・就学時の課題について報告

就学に関する必要で必要なことはサービス等利用計画に盛り込み事業所や関係機関と連携して相談支援を行う必要がある⇒相談支援部会と連携し、8月と9月に30分ずつ確認の場を持つよう検討していく。

・全体会の振り返り

メールで時間をかけた分落ち着いてやり取りが出来たのではないかと。2回目（11月予定）を開催するかメールとするかは状況をみながら決めていく。

・要綱会則見直し

今後対応していく。

・会計係担当のこと

各部会で会計係を決め、会計係から事務局に請求を上げるようにしてください。

・重度訪問介護のこと

相談支援部会でWGを持ち、重度訪問介護の利用について検討する。

・意思決定支援の研修について

昨年度の研修会等で、今後もガイドラインに沿った研修をして欲しいという要望を受けている。検討したい。

## ③その他

・コロナの中、各種イベントの開催をどのように対策して考えるのか迷いがある⇒スペースを確保しアルコール消毒をする等の感染防止対策を行った上で、できるだけ実施できるように考えている。